

研修報告書 No.10

県外病院初期臨床研修医

■はじめに

今回地域医療研修として、2021年2月1日から2月28日までのおよそ1ヶ月間、高知県内病院にて研修する機会をいただきましたので、ご報告させていただきます。

■県外在住医師から見た高知の地域医療の状況

研修した病院のある地域は、高知市内から車で40分程度の高齢者が非常に多く居住している地域でした。高知市内・近郊には大学病院や急性期病院がありますが、研修病院はこの地域の中核的な医療を担っている病院です。他領域に渡る様々な併存症を抱える症例が多くありました。オールラウンドの症例に対応するため医師として幅広く総合的な力が必要と感じました。

■研修内容に対する感想

具体的な研修内容は主に4つに分けられます。担当患者の病棟業務、救急車対応、各種診療科の外来見学、訪問診療や診療所への同行です。

① 病棟業務について

現在研修している病院と比較し、病棟業務の大きく異なった点は2点あります。1点目は入院患者の平均年齢が著しく高いということです。具体的な数値は不明ですが、普段の研修病院では平均80歳前後の患者さんを担当することが多いです。一方で今回研修中に担当した症例は90代、中には100歳となる方もいらっしゃいました。高齢に伴い、栄養、嚥下面での判断であったり、終末期の方針など考慮することは多岐に渡り、非常に学ぶべきことがたくさんありました。

2点目は非常に活発に医療スタッフとの連携が行われていたことです。栄養士さんやPT、ST、OTなどとのカンファレンスが行われ、総合的にチームとして強い医療を提供していたことが印象的でした。また各職種の知見や観察内容を合わせて治療を進めることができ、非常にスムーズに診療が進んでいると思いました。

② 救急車対応について

救急搬送された症例のファーストタッチ、入院する場合はその管理をさせていただきました。研修病院の救急外来以外での勤務は初めてだったので、戸惑うこともありましたが、様々な方にサポートいただき、救急対応について勉強させていただきました。

③ 各種診療科の外来見学について

内科の外来に加えて、皮膚科、脳神経外科、泌尿器科、外科の専門外来の見学をさせていただきました。先述の診療科は研修病院でローテーションをしていないものもあり、学生以来の外来となり、非常に勉強になりました。脂漏性角化症や過活動膀胱など高齢者の common disease について外来で診察することができてよかったです。

④ 訪問診療や診療所の見学について

学生時代も含めて訪問診療や診療所での診察を見せてもらったことがなかったので、学びの多いものでした。患者さんの自宅に伺い、周囲の様子から直近の様子を医師が推察したり、入院時の様子と自宅での様子を比較し一気通貫して診療を継続できるのは、患者さんにとってメリットの大きいことであると感じました。

■ 今回の臨床研修で得たと考えられるもの

訪問診療や診療所・施設での見学など、経験したことのない機会に恵まれ、医師として経験の幅を広げることができました。また、都心、地方の2つの医療機関で研修させていただいたことにより、医療を単一的な視点ではなく、複合的な視点で捉えられるようになったことが最も大きな学びでした。今後どのような立ち位置で医療に貢献する場合においても糧となるような経験をさせていただきました。

■ 最後に

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、一時は地域医療研修そのものを行えない可能性もありましたが、関係各所の方々のご尽力により、このような機会をいただけたことを重ねてお礼を申し上げます。高知医療再生機構の方々や、研修病院の先生方、その他スタッフの方々に大変お世話になり、充実した研修を送ることができました。心より感謝しております。今回の経験をいかして今後も精進したいと思います。